

押立ふれあい会館
避難所設営・運営
マニュアル

令和4年 10月

稲城市

はじめに

【避難所設営・運営マニュアルについて】

このマニュアルは、**震災時**に使用する避難所設営・運営マニュアルです。

稲城市に大地震が発生した際は、このマニュアルをもとに地域の方々（自主防災組織等）が中心となって避難所を設営・運営します。



【避難所における感染拡大防止対策を講じた避難所設営・運営要領について】

市では、避難所の感染症対策として、『避難所における感染拡大防止対策を講じた避難所設営・運営要領』を策定しました。

各避難所に配置した感染症対策用資器材の使用方法や、感染防止のための検温・問診・受付要領等が掲載されています。

避難所設営・運営については、上記のマニュアルに沿って対応して下さい。

（マニュアルは各避難所の避難所受付ボックス内に配置。）



も く じ

①	避難所の鍵を取りに行く	・・・	P 1
②	建物に入る	・・・	P 1
③	建物の安全点検を行う	・・・	P 2
④	避難者の受付を行う	・・・	P 3
⑤	特設公衆電話機を設置する	・・・	P 6
⑥	避難所の備蓄について	・・・	P10
⑦	避難所の移動について	・・・	P12

【 資 料 】

- ★ 避難所施設点検マニュアル
- ★ 避難所関係様式（1・2・4・7・8・9）
- ★ その他資料（避難所でのルール、コミュニケーションボード等）

① 避難所の鍵を取りに行く

押立地域で決められた者が鍵を管理しているので、管理者のところへ鍵を取りに行く。

② 建物に入る

※ 建物内に入る際、機械警備（セコム等）が鳴動しても無視して支障ない。



靴のまま入り、ガラス等飛散物に十分注意すること。
外見上、建物が明らかに倒壊しそうな場合は、建物には入らない。

③ 建物の安全点検を行う

避難所は耐震補強されていますが、必ず安全点検を行ってください。※ 安全点検も複数の人で実施し安全の為、靴をはいたまま建物に入ること。

《 安全点検チェック項目 》

- 建物の大きな傾きや主要構造物の破損は無いか
→ 建物が明らかに傾いている場合や主要構造物の破損があれば建物内には入らない。
- 落下物は無いか
→ 落下物を避けて避難し、除去できるようなら除去する。
※ 大量に落下物があり、余震でさらに落下する可能性があれば建物内には入らない。
- 扉の開閉状況等
→ 余震に備え、全ての扉を開けておく。
※ 状況を考慮し、余裕があれば、巻末の『避難所施設点検マニュアル』を参考に点検を行う。

【 避難所が使用できないとき 】

『 ⑤ 特設公衆電話機を設置する 』（P6）を参照し、下記のいずれかに連絡し、指示を仰ぐ。

稲城市消防本部 042-377-7119 （または 042-378-2111）

災害対策本部（衛星携帯電話①） 090-2732-8694

災害対策本部（衛星携帯電話②） 090-3205-3875

④ 避難者の受付を行う

- (1) 屋外の倉庫1へ行く。
(建物向かって左側面)



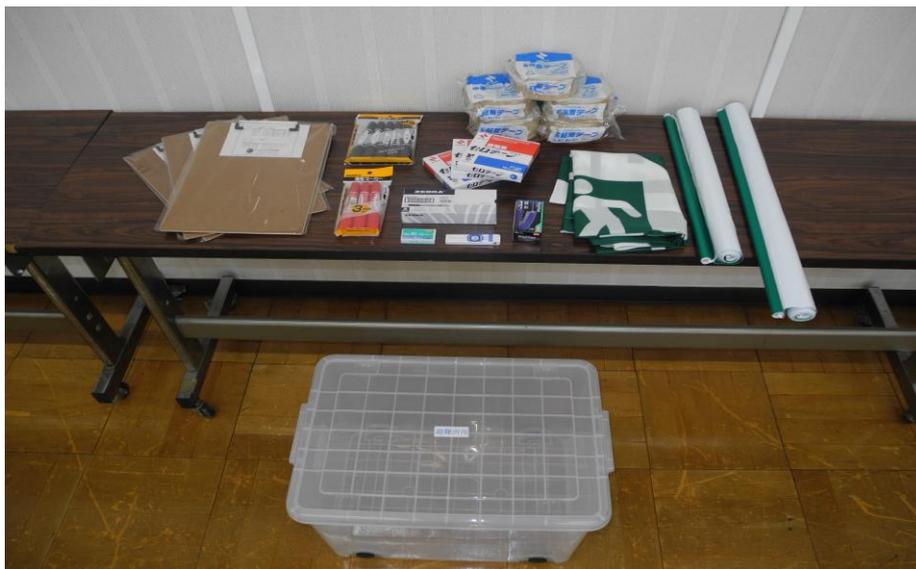
- (2) 倉庫1にある『避難者受付ボックス』(クリアケース)を、室内へ運ぶ。

クリアケースと一緒に、模造紙とのぼり旗の棒(水色の棒)も持っていくこと。



(3) 机等を用意して受付を設定し、ボックスの中身を出す。

【 セット内容 】 避難者受付用紙、バインダー、油性マジック、ガムテープ、セロハンテープ、シャープペンシル、消しゴム、方眼紙、避難所垂れ幕（大小2つ）、避難所のぼり（旗・棒）



(4) 避難してきた人から順番に避難者名簿（様式-2）を記入し、受付に提出する。2段階避難をしてきた自主防災組織等ですでに名簿を作成している場合は、その名簿を提出する。

受付の担当は、自主防災組織の本部長など、避難してきた団体の中の主たる者が行う。その者がいない時は、避難者どうしで助け合い、受付を行う。

※ 行方不明者がいる場合は、その者の氏名・性別・年齢等を記載してもらう。

(5) 受付の担当は、(4)の名簿を参考に、避難所収容状況表（様式-4）を記入し、避難所の入所者数及び入所世帯数を把握する。また、自宅避難者数が把握で

きた場合も同様に記載すること。

- (6) (4)の名簿を参考に、模造紙に避難者の氏名・性別・年齢・住所を記載し、見やすい場所に掲示する。(安否確認に使用する。)



- ※ 自宅へ戻るまたは他の地域へ移動する等、避難所を変更する際は、必ず受付で申告すること。
 - ※ 他の地域からの避難者及び帰宅困難者についても、本市の避難者と同様の対応をとることとする。
- (7) のぼり旗を組み立て、道路に面するところに掲出する。垂れ幕は、出入口付近に掲出する。



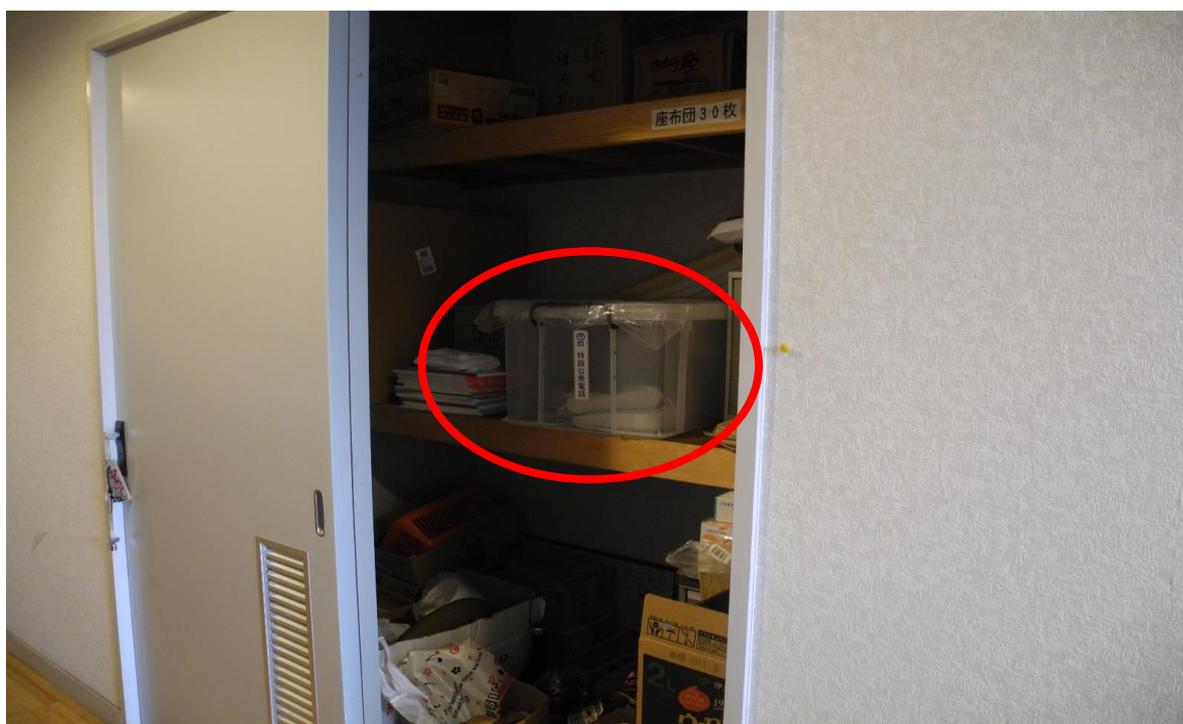
のぼり旗



垂れ幕

⑤ 特設公衆電話機を設置する

- (1) 廊下の手前の倉庫に、電話機の入ったクリアケースがある。ケースごと玄関前に運ぶ。



- (2) 玄関付近に『電話接続端子盤』（灰色のボックス）が設置してある。ここに、持ってきた電話機をつなげる。



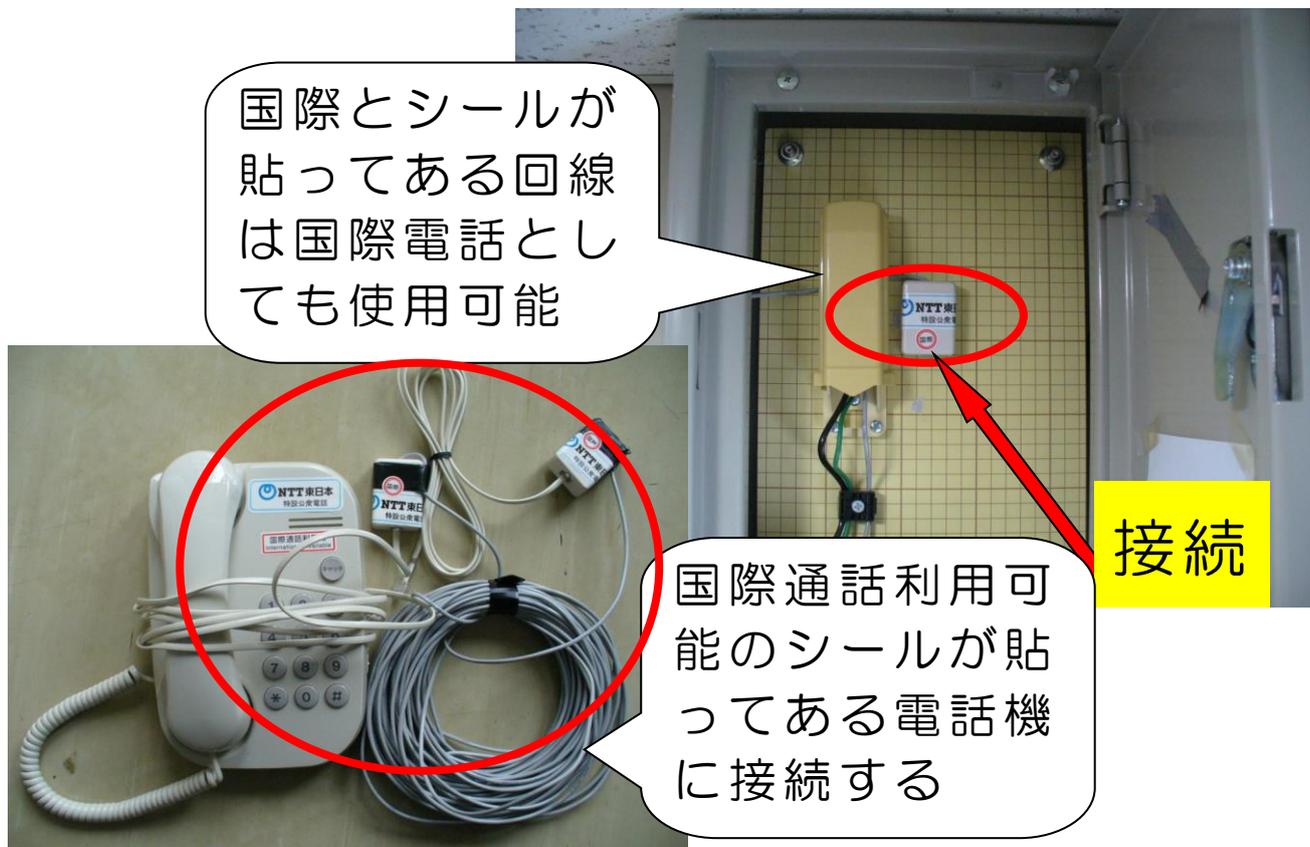
(3) クリアケースから、電話機やコードを取り出す。



(4) コードを接続する。



- (5) 脚立を使い、電話接続端子盤（灰色のボックス）のふたを開けて、コードを接続する。



- (6) 長机等を用意して、電話機を置けば設置完了。

受話器を取って『ツー』という発信音が聞こえれば使用できる。聞こえなければ、途中でプラグが抜けていないかどうか確認する。

(7) 設置した特設公衆電話機から、使用開始の連絡をする。

 03-6433-9764

電話は自動応答なので、必要事項を録音します。

【 自動応答内容 】

・・・こちらは、NTT東日本 東京支店 災害対策室 特設公衆電話自動受付です。

特設公衆電話の運用開始通知の場合は、市区町村名・避難所名称及びご連絡者のお名前・連絡先を、発信音の後に、1分以内でお答え下さい。

【 録音する内容 】

こちらは、東京都 稲城市 の 押立ふれあい会館 です。

私の名前は、〇〇です。

連絡先は、稲城消防署・防災課で、電話番号は 042-377-7119です。

 安否確認 NTT災害伝言ダイヤル『171』 

・ 伝言を録音するとき

171 + **1** → **電話番号を入力する (市外局番から)** → **伝言を入れる (30秒以内)**

・ 伝言を聞くととき

171 + **2** → **伝言を聞く**

⑥ 避難所の備蓄について

押立ふれあい会館の備蓄は、屋外の倉庫1の中にある。(建物左側面)



【 備蓄リスト 】 (令和2年6月現在)

備蓄品	数 量
アルファ化米	2箱 (100食)
保存水	10箱 (1.5ℓ×80本)
応急給水セット(黄)	1式
毛布	2箱 (20枚)
卓上カセットコンロ	2台
ストロングライト	1式

ガス発電機	2台
携帯用ポンプ	5セット（15本）
特設公衆電話BOX	1式
避難所受付BOX	1式
感染対策用品	1式

⑦ 避難所の移動について

押立ふれあい会館は、小中学校と比べると規模が小さく、備蓄にも限りがあります。

安全が確認出来次第、歩行が可能な方は、近隣の小中学校の避難所へ移動して下さい。

【 最寄りの小中学校の避難所 】



避難所施設点検マニュアル

平成 28 年 2 月

稲 城 市

避難所施設点検マニュアル

1 天井

- 天井材にずれ、ひび割れ、漏水跡等が認められる場合は、何らかの不具合が生じているか、地震の揺れにより天井材が落下または落下するおそれがないか確認する。



- 天井材が張られている場合は、照明器具周辺の天井材の破損がないか確認する。



2 照明器具等

- 照明器具は高所に取り付けられているため、脱落していないか確認する。
- 地震の揺れによる天井面の変形により、照明器具が落下または落下するおそれがないか確認する。



- ひび割れ等が認められる場合は、地震の揺れによりガラスが破損していないか確認する。
- ひび割れ等が認められる場合は、地震時に限らず、常時においてもガラスの飛散があることから、必要に応じてガラス部分等を取り除く。
- 窓ガラスの周辺に置かれている物は、地震の揺れにより移動し、ガラスと衝突する可能性があるため、物がガラスと接触しないよう、窓ガラス周辺に物を置かない、または必要に応じて物を固定する。
- ガラスの飛散を防止するため、ガラス面にガムテープ等を貼るなど、飛散防止に努める。



3 建具

- 窓の開閉に支障がないか確認する。
- 建具の変形によりガラスに力が加わり、ガラスが破損または破損するおそれがないか確認する。
- 建具の変形（たわみ）、腐食、ガタつきがないか確認する。
- 経年により腐朽した木製の建具はガラスが脱落しやすいので、経年劣化した建具は、必要に応じ取り除く。



4 外壁

- 外壁にひび割れ、欠損、脱落等がないか確認する。
- 特にモルタル仕上げの外壁は、地震の揺れにより剥落する危険がないか確認する。



5 内壁

- 内壁にひび割れ、欠損、脱落等がないか確認する。
- 特に高所に設置されたモルタル仕上げの内壁は、地震の揺れにより剥落する危険がないか確認する。
- 内部建具は、手で軽く押した際に取付部にガタつきがないか確認する。



6 放送機器等

- 高所に設置され、重量物であるスピーカー等の放送機器やバスケットゴール等の器具は、取付金物が脱落していないか確認する。



7 空調室外機

- 空調室外機が固定されていない場合は、地震の揺れにより脱落する可能性があるため、通路の上部に設置された空調室外機を優先して確認する。



8 カバー材（エキスパンションジョイントが設置されている施設のみ。）

- エキスパンションジョイントはカバー材で覆われており、小さな揺れでもカバー材が外れやすいので確認する。



建物被災状況 チェックシート (校舎等、コンクリート造)

はじめに:

☆この調査は、安全な避難所を迅速に開設するために、暫定的な初期診断として使用する物であり、調査者に何らかの責任を負わせるものではありません。

☆避難所となる建物が、本チェックシートによる点検を行うまでもなく一見して危険と判断できる場合は、他の避難所へ移動し、MCA無線等で災害対策本部へ連絡して下さい。

☆危険箇所や余震に十分に注意し、身の危険を感じたら直ちに調査を中止して下さい。

☆一度調査を行った施設でも、余震により被害が進んだと思われる場合には、本チェックシートを使用して再調査して下さい。

避難所名: _____

点検実施日時: _____ 年 月 日

点検実施者名: _____

始める前に！

- 1、動きやすい安全な服装で！・・・ヘルメット等、頭を保護し、運動靴等で動きやすい格好で。
- 2、調査は最低2名以上で！！・・・点検者2名、記録者1名の計3名で声を掛け合って。
- 3、身の危険を感じたら調査中止！！・・・余震、危険箇所等発見したら、調査中止。

次の該当するところへ○を付けて下さい。

質 問	該 当 項 目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性がありますか？	A いいえ B 傾いている感じがする C 倒れ込みそうである
2 建物周辺に地すべり、がけ崩れ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
3 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周辺の地面が沈下しましたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
4 建物が傾斜しましたか？	A いいえ B 傾斜したような感じがする C 明らかに傾斜した
5 外部の柱や壁にひび割れがありますか？	A いいえ B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6 外部タイル・モルタルなどが落下しまし	A いいえ

たか？	B 落下しかけている、落下している (Cの回答はありません)
7 床が壊れましたか？	A いいえ B 少し傾いている、下がっている C 大きく傾斜している、下がっている
8 内部のコンクリートの柱、壁にひび割れ がありますか？	A いいえ B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が 見える
9 建具やドアが壊れましたか？	A いいえ B 建具・ドアが動かない C 建具・ドアが壊れた
10 天井、照明器具が落下しましたか？	A いいえ B 落下しかけている C 落下した
11 その他、目についた被害を記入して下さい (例：塀が壊れた、ガラスが割れている、水・ガスが漏れている等)	

(判断基準)

1. 質問1～10を
集計します。

A	B	C

2. 必要な対応を
とります。

☆ BとCが一つでもある場合、避難所として『不適合』です。
他の避難所へ移動し、MCA無線等で災害対策本部へ点検
結果を報告して下さい。

☆ Aのみの場合、避難所施設して使用できます。

避難者名簿

避難所名

入所年月日	年 月 日 (時 分)				
住 所					
氏 名	年齢	性別	現病歴 や 妊娠等	ケガ	健康管理 (該当する箇所に☑して下さい。)
代表者	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
家族 (ここに避難した人だけ記入)	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
	歳	男・女		有・無	<input type="checkbox"/> 〇℃ <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚異常
家族の中に特別な配慮を必要とする方がいる場合、ご記入下さい。(例： ○○が車いす、要介護2、等)					ベットの状況等 ★ペット同行 有・無 種類 : 犬 (頭) 猫 (頭) その他 (: 頭)
あなたの家族は全員避難していますか？(該当する箇所に☑して下さい) <input type="checkbox"/> 全員この避難所に避難している。 <input type="checkbox"/> 異なる避難所だが全員が避難していることを確認している。 <input type="checkbox"/> まだ避難していない家族がいる。もしくは、どこにいるか分からない家族がいる。 ⇒どなたですか？(名前・年齢・続柄) ① () ② () ③ ()					
※安否の問い合わせがあった場合、住所・氏名を回答しても良いですか？ 良い ・ 良くない					
退所年月日	令和	年	月	日	
転出先住所：					
電 話：					

※震災時、在宅避難する場合のみ☑して下さい。
 在宅避難しています。

避難所収容状況表

避難所名 _____

第 報 _____

報告日時	年 月 日 時 分	報告者		
		受信者		
収容状況	避難者数	退所者数	避難者数の内 (発熱者)	
	_____人 (男) (女)	_____人 (男) (女)	_____人 (男) (女)	
	世帯	世帯	世帯	
	在宅 <small>※震災時のみ記載</small>	_____人 (男) (女)	_____人 (男) (女)	_____人 (男) (女)
	世帯	世帯	世帯	
	ペット頭数	犬頭 猫頭 その他頭 計頭	犬頭 猫頭 その他頭 計頭	/
避難所状況	施設点検 チェック	実施 ・ 未実施 ※ 避難所施設点検マニュアルを活用した施設の点検。		
	ライフライン	停電 ・ 断水 ・ ガス遮断 ・ 電話不通		
周辺状況	※ 周辺の土砂崩れ及び道路の状況等			
連絡事項	※ 対処すべき事項又は予見される事項(水及び食料の過不足、物資の過不足、風邪などの発生状況、避難所の生活環境、避難者の状況等)			

避難所 日 誌

避難所名 _____

責任者印	月 日	記 事

避難所物品使用状況表

避難所名 _____

責任者 認 印	月 日	物品使用状況		備 考
		品 名	使用数量	

注 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目名、使用数量を記入する。

物 品 受 払 簿

避難所名		担当職員	
------	--	------	--

品名		単位呼称	
----	--	------	--

受取日	摘要	受入数	払出数	現在高	扱者	備考

- (注) 1 品目ごとに作成する。
2 摘要には、購入先及び払出先等を記入する。
3 備考には、購入金額及びその内訳を記入する。

避難所でのルールについて

共同生活を送る上でのルールについて、ご協力をお願いします。

- ・避難所を退所する際は、必ず受付で手続きを行なって下さい。
- ・地震の際は、配管の損傷が無いことが確認できるまで**水栓トイレを使
ってははいけません**。(汚物が詰まって逆流し、トイレからあふれて大変
不衛生となります。) **必ず、トイレ処理袋を使用しましょう**。
- ・基本的に、自分や家族の分の備蓄を持って避難し、水・食料などは、自
分が持っているものから先に消費しましょう。
- ・ごみは、決められた場所に分別して捨てましょう。
- ・スマートフォンやラジオはマナーモードに設定し、他の避難者と譲り合
って生活しましょう。
- ・避難所内は、**禁酒・禁煙**です。
- ・避難所生活に係る仕事(居住空間の掃除、ゴミ捨て、トイレ掃除、炊き
出し、その他避難所に係る仕事等)は、**基本的に避難者全員で協力し
て実施します**。トイレ掃除や炊き出し等が一部の避難者のみの負担に
ならないようにしましょう。
- ・基本的に、起床 6 時 00 分、消灯 21 時 00 分とします。(状況により変
動します。) 食事の時間は、食事を提供できる体制となった際に改めて
お知らせします。
- ・ペットは、アレルギーの方を考慮し、体育館等の中で一緒に過ごすこと
はできません。必ずケージに入れ、屋根のある場所で管理しましょう。
ペットの毛や排泄物の処理は飼い主が責任を持って行いましょう。
- ※補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)については、避難所の運営担当者
に相談して下さい。
- ・車で寝泊まりすることはできません。(車に滞在することにより、避難者
数の把握がしづらく、エコノミークラス症候群等になりやすいため)。
- ・避難者の中には、周囲の助けを必要とされる方もいます。
困っていることが無いか聞き、お互いに助け合いましょう。

稲城市

【避難所の皆さんへ】

避難所は、自宅が倒壊・水没・焼失した方、ライフラインの途絶により自宅での生活が大変困難な方、土砂災害や洪水の避難勧告等の発令により自宅に留まることが危険である方が避難する場所です。

- ・ 避難所は、**必要最低限の生活を営む空間**であり、**快適な生活ができる場所ではありません。**
- ・ 避難所に避難する際は、自助として自分や家族の分の備蓄を必ず持っていきましょう。（非常用持ち出し袋を準備しましょう。）
- ・ 避難所では、**他の避難者との共同生活**となります。
- ・ 震災時の避難所設営・運営（初動対応）は、地域の自主防災組織等の方々が実施します。発災後の大変な中で、避難してくる方のために避難所に対応していただきます。**避難所に避難される方は、避難所の円滑な運営にご理解とご協力をお願いいたします。**

稲城市

避難所でのマナー5ヶ条

- 1 ビブス・腕章・ボランティアタグを付けた係員の指示に従いましょう。
- 2 お互い様、思いやりの気持ちを持ちましょう。
- 3 自分勝手なふるまいは控え、協力しましょう。
- 4 要配慮者(乳幼児・障害者・高齢者・妊産婦等)には、目配り・気配り・心配りをしましょう。
- 5 発熱者や、体調が悪い方はすぐに申し出るようにしましょう。

稲城市

コミュニケーションボード

さいがいへん ～ 災害編 ～

やさしく ゆっくり
話しかけて下さい

あなたの … (What is your …)



『コミュニケーションボード』
とは…

言葉で自分の気持ちを伝えたり、相手の言葉を理解するのが苦手な方のためのコミュニケーションツールです。

自閉症や知的障害のある方のほか、外国人、高齢者、小さな子どもなど、多くの方がご使用いただけます。



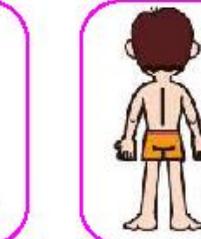
コミュニケーションボード

やさしく ゆっくり
話しかけて下さい

～ トラブル編 ～

～ ケガ・病気編 ～

 たすけてください help	 おしえてください tell me	 やめてください Please stop	 うるさい Noisy
 なぐられた I was hit	 ちがんにあつた I was sexually abused	 こうつうしこにあつた I was involved in a traffic accident	 まいごになつた I am lost
 おとしました I lost something	 とられた I was taken	 いつ? When?	 どこに? Where?
 けいたいでんわ mobile telephone	 さいふ Wallet	 相談したい I'd like a consultation	 〇〇へ 行きたい I want to go to 〇〇 ※行きたいましょを 書いてください

 からだの どこ ですか? Which part of your body?	 からだの どこ ですか? Which part of your body?	 くるしい I feel something pressing いたい I feel pain すこし A little すこく Not so good	
 けが I hurt	 気持ちが悪い Feel sick	 はいた I vomited	 熱がある I have fever
 めまいがする I feel dizzy	 しびれる Head hurts	 血がでた I bled	 休みたい I want to have a rest
 くすり Medicine	 きか Car	 アレルギーは ありますか? Do you have allergies?	 かかりつけの病院は? Do you have regular hospital?
 すこし待ってください Please wait for a moment	 動かないでください Please keep still	 連れて行きます I'm going to take you	 病院へいきます You are carried to hospital